

2020年4月5日

事務職員（共助会係）様

一般社団法人 鹿児島県教職員共助会

理事長 室屋 龍治

（公印省略）

定額貯金の金利の引下げについて

陽春の候、共助会係の皆さまには、本会の諸事業の推進につきまして、温かいご理解とご支援等を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、コロナウィルスの蔓延による世界経済に及ぼす影響が大きくなる中、運用環境はさらに厳しくなることが予想され、急遽、定額貯金の金利についての検討を行い、理事会で下記のような金利引下げの決定を行いました。

会員への周知につきましては、共助会だより 5月号、共助会 HP にて行う予定です、事前に各所属所にお知らせします。

記

1. 引き下げの背景

ここ数年国内の短期金利はマイナス圏の中、共助会は、福利厚生事業の一つとして、市中金融機関に比べて大幅に高い金利で貯金事業を展開してきました。これは外貨建債券等で創意工夫した運用を行ってきた結果です。

アメリカを初めとする主要諸国は、経済の下振れリスクが懸念されたことから、金利引き下げの方向に動いてきていました。こうした状況に拍車をかけたのがコロナウィルスの問題です。この問題が世界経済に及ぼす影響が大きくなる中、株の大暴落を引き起こし、その結果、アメリカでは2週間余りで2回の利下げが行われ実質0金利政策を打ち出しました。

こうした背景から、運用環境はさらに厳しくなることが予想され、増える定額貯金を想定すると、現状の金利を維持していくことが厳しくなるということをふまえ、急遽、定額貯金の金利についての検討を行い、理事会で次のような決定を行いました。

2. 検討結果

- ・現状をふまえて、当面0.6%から0.42%に金利引き下げを行う。
- ・引き下げ時期は、6月1日から（以前の申し込みは0.6%適用です）

—新しい金利の適用は6月1日以降の新規申込からとなります—